

令和7年9月30日

滝沢市議会議長 角掛 邦彦 様

会 派 名 滝政会
代表者名 日向 清一

政務活動（調査研究・研修・要請陳情等）実施報告書

滝沢市議会の政務活動費の交付に関する条例第9条に規定する使途基準に基づき、政務活動（調査研究・研修・要請陳情等）を実施したので、報告します。

記

1 期日

令和7年8月27日（水） から 令和7年8月29日（金） まで

2 活動場所

- ① 札幌市民防災センター
- ② 札幌文化芸術劇場 h i t a r u
- ③ 福島町役場

3 参加者

日向清一、井上仁、遠藤秀鬼、角掛邦彦

4 活動内容

別紙のとおり

政務活動シート

調査主体: 滝政会

調査項目名称	調査研究(視察含む) ・ 研修 ・ 要請陳情等
活動の理由 及び その目的	<p>◎防災意識の啓発及び地域住民と自治体による防災・減災の連携のあり方について調査するため</p> <p>◎議会の活性化となり手不足への全国的な対応を研究し、今後の本市議会のあるべき姿について調査するため</p> <p>◎議会改革に関する先進地調査をするため</p>
活動概要	<p>●実施日 8月27日から8月29日まで</p> <p>●場所 ①札幌市民防災センター ②札幌文化芸術劇場hitaru ③福島町役場</p> <p>●内容</p> <p>◎札幌市民防災センター 8月27日 10:00～11:30 センターの概要について説明を受け、その後、震度、風力及び煙を体験した。</p> <p>◎全国市議会議長会研究フォーラム 8月27日 13:00～17:00 基調講演 伊吹 文明 氏 「主権を預かる誇りと責任」 パネルディスカッション 「多様な人材の参画促進の観点から地方議会議員のなり手不足問題を考える」</p> <p>◎全国市議会議長会研究フォーラム 8月28日 9:00～11:00 課題討議 「地方議会議員のなり手不足問題の取組報告」</p> <p>◎行政視察 福島町議会 8月29日 10:30～12:00</p>
活動成果	<p>◎札幌市民防災センター 視察 消防署隣接の防災センターであり、夏休みが終わっても児童・生徒の見学が多く、市民への防災意識の向上に寄与している施設だった。常に8名の職員を配置しているとのことだったが、各体験も順番待ちとなる状況であった。</p> <p>◎全国市議会議長会フォーラム 研修 本市においても全国同様、投票率の低下や議会への無関心といった傾向があることから、先進地域での主権者教育の取組を聞き、参考になった。</p> <p>◎福島町議会 視察 事前に質問事項を示していたことからより充実した情報交換、意見交換となった。以下、特徴的な部分をあげる。 ・常任委員会も議場で行っている。常任委員会の活動を重視している。 ・常任委員会は4年任期であり、委員外委員も参加している。 ・常任委員会は2つあり、議長、副議長も所属しており、同時開催はない。 ・常任委員会の活動は議会の政策提言につながる調査活動である。 ・議会基本条例は議員改選後に規定の見直しを行う。</p>

- ・議会報告会は、議会からの報告に時間がかかることから、「町民と議員との懇談会」と名称を変え、気軽に参加し、話しができる雰囲気となるよう工夫した。
- ・「議会白書」は1年間の議会活動の実態や問題点を報告書として公表しており、町民と議会の協働につながる。
- ・傍聴者は議会参画者として位置づけている。傍聴席にはマイクを設置しており、市民も参加し、意見を述べることができる。

考察

◎札幌市民防災センター

人口規模は違うが、見学者を見て、このような施設が常設されていることは防災意識の向上を図る上でも効果的であると感じた。

活動成果

◎全国市議会議長会フォーラム

議員一人ひとりの資質向上により議会への関心を高め、また、環境を整えるなど、担い手不足対策を行うべきと感じた。

◎福島町議会

議会改革の取組は平成11年より本格的に進められており、現在の議長が当時から長く議長に就き、積極的に進めてきた成果が感じられた。答弁書については、事前に配布することで議員全員が勉強会を行い、質問の整理が可能となり、議論が分かりやすく、質問回数・時間の短縮にもつながっている。本市議会においても早い時期に答弁資料の事前配付をすることで、議員一人ひとりの質の向上はもちろん、質問と答弁の整合性が図られるなど、よりよい一般質問ができると感じた。

会 派 視 察 行 程 表

年 月 日	時 刻	行 程
令和 7 年 8 月 26 日 (火)	8:50～10:53 11:05～14:41	<p>盛岡駅⇒新函館北斗駅(はやぶさ 1 号) 新函館北斗駅⇒札幌駅(特急北斗 9 号)</p> <p>【宿泊】 T マークシティホテル札幌(札幌市内)</p> <p>※8月26日は札幌までの移動時間を考慮の上、 全国市議会議長会研究フォーラムの受付時間に 間に合うように前日に移動した。尚、議長は同 会場へ公務として参加の為、フォーラム終了後 の28日午後からの同行となった。</p>
令和 7 年 8 月 27 日 (水)	10:00～11:30 11:30～13:00 13:00～17:00	<p>宿泊地⇒札幌市民防災センター 会場へ移動</p> <p>【研修】 「全国市議会議長会研究フォーラム」 札幌文化芸術劇場 hitaru (北海道札幌市中央区北 1 条西 1 丁目)</p> <p>【宿泊】 T マークシティホテル札幌(札幌市内)</p>
令和 7 年 8 月 28 日 (木)	8:00 9:00～11:00 12:09～15:52	<p>宿泊地発</p> <p>【研修】 「全国市議会議長会研究フォーラム」 札幌文化芸術劇場 hitaru (札幌市中央区北 1 条西 1 丁目)</p> <p>札幌駅⇒新函館北斗駅(特急北斗 12 号)</p> <p>レンタカーで移動 店舗：トヨタレンタカー新函館北斗駅前店</p>

		<p>【宿泊】 フォーポイントフレックス by シェラトン函館駅前</p>
<p>令和7年 8月29日 (金)</p>	<p>8:00～10:15 10:30～12:00 14:48～16:44</p>	<p>宿泊先⇒福島町役場 (レンタカーで移動)</p> <p>【視察】 福島町議会 (北海道福島町松前群福島町字福島 820)</p> <p>福島町役場⇒新函館北斗駅(レンタカーで移動) レンタカー返却 店舗：トヨタレンタカー新函館北斗駅前店</p> <p>新函館北斗駅⇒盛岡駅 (はやぶさ 30号)</p>

令和8年2月12日

滝沢市議会議長 角掛 邦彦 様

会 派 名 滝政会
代表者名 日向 清一

政務活動 ~~調査研究~~ ~~研修~~ (要請陳情等) 実施報告書

滝沢市議会の政務活動費の交付に関する条例第9条に規定する使途基準に基づき、政務活動 ~~調査研究~~ ~~研修~~ (要請陳情等) を実施したので、報告します。

記

1 期日

令和8年1月27日(火) から 令和8年1月28日(水) まで

2 活動場所

- ① I K E ・ B i z としま産業振興プラザ
- ② そなエリア(東京臨海広域防災公園)
- ③ いわて銀河プラザ

3 参加者

日向清一、井上 仁、遠藤秀鬼、角掛邦彦(27日のみ)

4 活動内容

別紙のとおり

政務活動シート

調査主体： 滝政会

調査項目名称	調査研究(視察含む) ● 研修 ● 要請陳情等
<p>活動の理由 及び その目的</p>	<p>滝政会の年間活動計画のうち、下記3点にする現状確認と知見を深めるため。</p> <p>①地域住民と自治体による防災・減災の連携の調査 ②地域ブランドの開発推進によるふるさと納税の利用促進を図るための調査 ④議会改革の推進</p>
<p>活動概要</p>	<p>●実施日 令和8年1月27日(火) から 令和8年1月28日(水) まで</p> <p>●場所 ①IKE・Biz としま産業振興プラザ ②そなエリア (東京臨海広域防災公園) ③いわて銀河プラザ</p> <p>●内容 ・政策議会の実現に向けた議会・議員の取り組み (土山希美枝) 1部 政策議会をつくる二元代表制とヒロバとしての議会 2部 政策議会の一般質問 ・施設見学にて、都内における最新の防災教育施設の状況を確認 ・銀座の施設にて、売り場に占める滝沢製品の状況確認 ※その他、別紙に記載のとおり</p>
<p>活動成果</p>	<p>地方議会議員セミナー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議員のなり手不足は議会の理解が必要である。 ・委員会代表質問を進めることも検討の余地ありと感じた。 ・議員として、一般質問、所管事務調査、議員一人の発想を「議員が共有するまちの課題」として議員間議論・対話を行い、委員会として提言となるルートが必要であると認識した。 ・一般質問には確認で終わるようなもったいない質問があることから、提言につながる質問になるよう心がけるべきである。 <p>セミナーでの他議会の先進的な事例が紹介され参考となった。</p> <p>東京臨海広域防災公園 「そなエリア」 地域住民と自治体による防災・減災の連携の調査のため視察した。 防災・減災に関する展示物も豊富で、いろいろな体験ができる施設であった。小学生の学習にもたくさんの子供が訪れていた。 さらには、災害が発生した際の対策会議を開催することができる会議室が整備されており、都の対策は万全であると感じた。また、体験の重要性も改めて確認できた。</p> <p>いわて銀河プラザ 地域ブランドの開発、推進によるふるさと納税の利用促進を図るための調査・視察を行った。店内には県内の生産物・加工品がたくさん並んでいる中で、残念ながら市内の生産品は一つだけで、姥屋敷の生産者である庄司氏の長芋の真空パック詰めであった。市内での販売は見かけることはなく、市観光物産協会もその実態を把握しているかどうか、ふるさと納税返礼品として検討し推奨すべきと感じた。</p>

(別紙)

- 滝政会政務活動 ① 廣瀬行政研究所「地方議会議員セミナー」受講
② そなエリア（東京臨海広域防災公園）視察
③ いわて銀河プラザ視察

<セミナー概要>

① 政策議会の実現に向けた議会・議員の取り組み

1 部 政策議会をつくる二元代表制とヒロバとしての議会

1. 定数削減となり手不足問題が示すもの

- ・議会はいざという時になくてはならないものである。
- ・定数は少ないと思っている。
- ・議会の理解が必要である（活動や成果）。
- ・専門はなかなか難しい。
- ・専門としての生活給も含めた報酬の考え方が必要である。
- ・やりがいと処遇の関係が一致しない。
- ・4年に1回の審判を受けることにより失職となる可能性がある。

2. 議会・議員像の再設定

(1) 政策議会を考える

- ・自治体は「市民が必要不可欠とする（政策・制度）を整備するための機構」であり、課題もない事業については検討整備する。
- ・ポリシーとして方針、政策、方策で目的・目標に到達する。
- ・よい自治体とは政策、制度をよく整備する自治体である。
- ・自治体の（政策・制度）はどのように制御されているか、設計と実態から考える。
- ・制御に責任ある政策主体としてかかわる「政策議会」を目指す。
- ・制御には間接制御と直接制御がある。

(2) 議会基本条例の意味

- ・約7割程度が策定している。政策議会としての基本ルールと仕組み。
- ・基本条例で何をどうするか、市民に「議決機関としての責任」をどう果たすかが重要である。

(3) 議会の「成果」を考える

- ・政策議会としての実績と周知をあげるためにできること。
- ・政策議会の「成果」をどう設定するかが大事である。
- ・「わがまちの（政策・制度）は議会があるから（行政だけより）よい状態である」という市民からの評価を得ることが大事である。

3. 議会による広報広聴の戦略 議会の「成果」を積み重ね、見える化する。

- ・争点を取り込み、成果を出す。モメるときこそ議会の出番である。
- ・議員として、一般質問、所管事務調査、議員「ひとり」の発想を、委員会、また議会の政策決断に展開していくシクミが必要である。
- ・一般質問（議員）から所管事務調査（委員会）、そして提言（議会）となるルートが必要であ

る。

- ・北海道の別海町議会が「一般質問検討会」を行っている。

4. 市民と議会のもやい直し

- ・傍聴者から一般質問の通信簿をつけてもらうことも必要である。

（当市議会はアドバイザーにチェックをしてもらい、会派・議運で振り返りを行っている。）

- ・以前に一般質問したことが成果として出ていることなどを紹介すべきである。
- ・市民には伝えることが大事である。

2部 政策議会の一般質問

2. 一般質問の機能と制度

- ・地方自治法にない仕組みであり、たかが一般質問、されど一般質問であるとはいえ、議員のパフォーマンスより議会改革が必要である。
- ・自分の活動と知見を集約し、わがまちの「政策・制度」の争点を提起し、監査・提案できる機会である。

3. 一般質問はなぜ機能していないか

- ・残念な質問、もったいない質問がある。「まちをよくする」ために「問い質し」ているか、確認だけの質問で終わっていないかどうか。

4. 一般質問を機能させるために

- ・別海町議会、鷹栖町議会などは、委員会代表質問を進めている。「委員総意のもとで質問させていただきます」と切り出す。
- ・論点整理シートをつくり、紙に質問を書き出していく。
- ・情報収集はインターネットでも収集できるがすべてではない。現場の情報が大事である。
- ・情報収集はD-F i l e、W A R Pで行なう。
- ・A Iに頼らない。グーグル、ウィキペディアはやめたほうがよい。
- ・一般質問を「議員ひとりもの」にしないシクミとして「議員が共有するまちの課題」として実質的な議員間議論、対話を行う。委員会の所管事務調査（芽室町議会、可児市議会）や委員会代表質問の可能性（別海町議会、甲賀市議会）を探る。

<セミナーの様子>



<東京臨海広域防災公園「そなエリア」の様子>



<いわて銀河プラザの入り口の様子>



会 派 視 察 行 程 表

年 月 日	時 刻	行 程
令和 8 年 1 月 26 日 (月)	17:16～19:32	盛岡駅⇒東京駅(はやぶさ 62 号) 東京駅到着後、ホテル直行 【宿泊】 ホテルグランドシティ(池袋) 4 名
令和 8 年 1 月 27 日 (火)	10:00～17:00 17:00	宿泊地⇒としま産業振興プラザ(終日研修) ホテルへ移動 【宿泊】 マロウドイン赤坂 4 名
令和 8 年 1 月 28 日 (水)	8:00 9:00～12:00 13:20～15:32	宿泊地発 【視察】 ・ 銀河プラザ ・ 東京臨海広域防災公園「そなエリア」 東京駅⇒盛岡駅(はやぶさ 23 号)

※ 26 日は議会日程終了後出発の上、東京へ前入り

※ 28 日は議長公務のため、角掛議長は 27 日のうちに帰宅

令和 8 年 2 月 2 7 日

滝沢市議会議長 角掛 邦彦 様

会 派 名 滝政会
代表者名 日向 清一

政務活動（~~調査研究・研修~~・要請陳情等）実施報告書

滝沢市議会の政務活動費の交付に関する条例第 9 条に規定する使途基準に基づき、政務活動（~~調査研究・研修~~・要請陳情等）を実施したので、報告します。

記

- 1 期日
令和 8 年 2 月 2 6 日（木）
- 2 活動場所
 - ① 自由民主党本部
 - ② 衆議院第二議員会館
 - ③ 衆議院第一議員会館
- 3 参加者
井上 仁、遠藤秀鬼、角掛邦彦
- 4 活動内容
別紙のとおり

政務活動シート

調査主体：滝政会

調査項目名称	調査研究(視察含む) ・ 研修 ・ <u>要請陳情等</u>
活動の理由 及び その目的	基幹統計調査の実施方法や産業用地開発(市IPUイノベーションパーク)の支援策など、市の課題解決に向け、国会議員への要望活動を議員の立場でも行ったもの。
活動概要	<ul style="list-style-type: none"> ●実施日 令和8年2月26日(木) ●場所 自由民主党本部(幹事長室) 衆議院第二議員会館(米内紘正事務室) 衆議院第二議員会館(藤原崇事務室) 衆議院第一議員会館(鈴木俊一事務室) ●内容 別紙「要望書」を岩手県選出国會議員3名へ直接渡し、要望事項等を説明した。
活動成果	<ul style="list-style-type: none"> ・基幹統計調査の実施方法等の見直しについて 十分に理解はしていただいたが、国全体のことであるため要検討となった。 ・産業用地開発の支援策の充実について 新たに進める計画の「地域未来戦略」に当てはまる可能性もあるというお話もいただき、県と合意した後、詳細な計画が進んだら相談することとなった。 ・その他 米内紘正衆議院議員と今年度の除雪状況や盛岡市との学校給食センターの広域利用について、情報交換を行った。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: center; margin-top: 20px;">  </div>

会 派 視 察 行 程 表

年 月 日	時 刻	行 程
令和 8 年 2 月 26 日 (木)	9:06～11:56	盛岡駅⇒東京駅(はやぶさ 108 号)
	13:30～13:45	自由民主党本部(幹事長室)
	14:10～14:30	衆議院第二議員会館(米内紘正事務室)
	14:35～14:50	衆議院第二議員会館(藤原崇事務室)
	15:15～15:35	衆議院第一議員会館(鈴木俊一事務室)
	16:20～18:33	東京駅⇒盛岡駅(こまち 33 号)